

## 17 DXの推進



### 道路関連

予算 93,000千円  
(道路計画課、建設推進課)

#### 地中レーダーを活用した地下埋設物検知 (新規)

地中レーダーを活用し、地下埋設物を見える化することで、設計時に工事の支障となる地下埋設物の位置を正確に把握し、設計精度の向上を図り、工事時の破損事故を防止します。



#### 車両走行情報のビッグデータを活用した交通安全対策 (P6再掲)

ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビから収集された車両走行情報のビッグデータを活用し、速度超過や急ブレーキ箇所を見える化することで、潜在的な危険箇所を特定し、より効果的・効率的な交通安全対策に取り組みます。  
令和5年度は、ビッグデータを活用したハンプ等の設置と車両の速度規制を組み合わせたゾーン30プラスを推進します。

<令和5年度主な予定箇所>

- ・東区千早西外4地区 (継続)
- ・東区八田地区 (新規)
- ・南区大橋2丁目地区 (新規)
- ・早良区有田地区 (新規)
- ・西区今宿東1丁目地区 (新規)



急ブレーキ発生箇所と速度超過箇所を「見える化」することで、潜在的な危険箇所を特定



事故を未然に防ぐための安全対策  
ハンプの設置  
予算 9,500千円 (河川課)

### 河川関連

#### ドローン活用による河川3Dマップの構築 (新規)

河川情報の高度化や、災害時の変状把握等を目的に、河川の上空からドローンを用いて360度パノラマ画像を撮影し、地図情報と画像データを結び付け、河川の状況を画像で確認できる仕組みを構築します。



### 下水道関連

#### 下水道使用料のスマートフォン決済の導入 (新規)

予算 1,663千円  
(下水道料金課)

下水道使用料の納付について、スマートフォン決済を導入することで、24時間、365日、外出することなく、いつでも、どこでも納付が可能になり、市民の利便性が向上するとともに、収納率の向上を図ります。(令和6年1月運用開始予定)



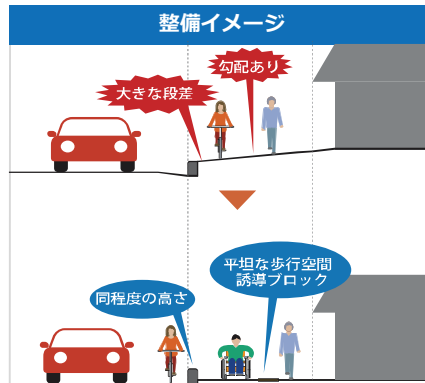
# 主要事業

## ユニバーサルデザインに基づいた道路整備



(道路計画課)

全ての人が社会参加に向けて安全で快適に移動できるよう、ユニバーサルデザインに基づいた道路のバリアフリー化などを進めます。



## 橋本駅駅前広場の再整備



(道路計画課)

橋本駅駅前広場の機能を強化し、市民や来訪者にとって、さらに安全で使いやすい駅前広場にするために、リニューアルします。ゆとりある歩行空間を創出し、バスやタクシーの乗降場までの経路に屋根を設置することで、乗継ぎの利便性向上を図るとともに、認知症の人をはじめ、あらゆる方にとってわかりやすいデザインでの整備に取り組みます。

(令和5年度完了予定)



## 交通円滑化に向けた局所的な対策 (交差点改良やバス停カットの整備)

(道路計画課)

交通の円滑化を図るため、渋滞が著しい交差点の改良や、既存のバス路線におけるバス停カットの整備に取り組みます。

- <令和5年度主な予定箇所>
- ・市道舞鶴薬院線 外 **(新規)**  
[城東橋交差点]
  - ・市道塩原野間線 **(継続)**  
[野間4丁目交差点]
  - ・県道後野福岡線 **(新規)**  
[下の原バス停]



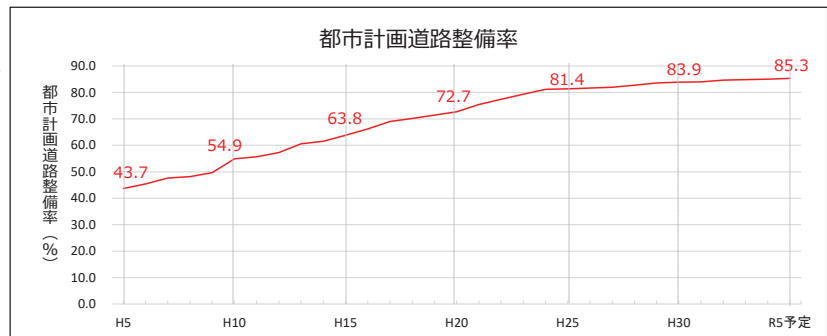
## 放射環状型の道路ネットワークの整備

(道路計画課)

人・物の広域交流連携を支える放射環状型の道路ネットワークの形成を図るため、都市計画道路の整備を進めます。

〈令和5年度主な予定箇所〉

- ・都市計画道路 野間屋形原線 (継続)
- ・都市計画道路 長尾橋本線 (継続)
- ・都市計画道路 国道3号線 (継続)



## 下水道分野における国際貢献の推進

(政策調整課)

JICA (独立行政法人国際協力機構) 事業や世界銀行のプロジェクト等を活用し、フィジー共和国やインド共和国アーメダバード市等に対して、オンラインを活用した下水道にかかる取組み紹介や職員の受入・派遣等を行います。



## 世界水泳関連

(総務課・高速道路推進課)

「世界水泳選手権2023福岡大会」「世界マスターズ水泳選手権2023九州大会」において、競技会会場での動画放映やブース展示などを通じて、福岡市の優れた下水道技術やインフラ整備について、国内外へ広く発信します。また、競技会会場周辺の都市高速道路橋脚への世界水泳PR広報幕の設置など、道路下水道局の特色を生かした世界水泳おもてなし装飾を実施し、大会開催気運の醸成に貢献します。





# 道路整備アクションプラン

## 1. 道路整備アクションプラン2024（R3～R6）の状況

項目		令和2年度末 見込み (策定時)	令和4年度末 見込 (A)	令和5年度 事業量 (B)	令和5年度末 予定 (A) + (B)	令和6年度末 目標
生活関連経路のバリアフリー化された割合※1	%	91	94.4	1.7	96.1	99
整備延長	km	35.9	37.0	0.7	37.7	39.0
小学校周辺の歩車分離率※2	%	73	76.6	3.7	80.3	82
整備延長	km	258.4	267.9	12.9	280.8	288.8
自転車通行空間の整備延長	km	122	138.0	5.5	143.5	160
都市計画道路の整備率※3	%	84.7	85.0	0.3	85.3	86.1
都心部を回遊する歩行者量※4	人	41,310	47,980	—	—	46,000
無電柱化計画に基づく無電柱化整備延長	km	150	156.1	7.9	164.0	168
橋梁の長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕数	橋	175	198	24	222	234
道路照明灯のLED化率※5	%	86	89	1	90	95
LED照明灯数	基	32,845	33,773	330	34,103	36,151
地域が設置する防犯灯のLED化率※6	%	89	91	3	94	100
LED防犯灯数	基	39,125	40,042	1,349	41,391	44,193
市民等との共働による道路の保全活動団体数※7	団体	12	18	3	21	25

※1 バリアフリー化された延長÷生活関連経路全延長39.2km（直轄道路、臨港道路等除く）

※2 通学路を含む小学校から半径250mの道路のうち、歩車分離された延長÷全延長349.6km

※3 都市計画道路の整備状況（整備済延長：車道・歩道の両方が整備完了した延長）

項目		令和4年度末 見込	令和5年度末 予定	前年比
計画道路延長	km	505.8	505.8	—
整備済延長	km	429.9	431.2	1.3

※4 天神と博多を結ぶ7つの橋の断面歩行者量の合計

（7:00～20:00、西大橋・福博であい橋・中洲懸橋・春吉橋・灘の川橋・住吉橋・柳橋）

※5 LED照明灯数÷市管理の照明灯数38,033基

※6 LED防犯灯数÷地域の防犯灯数44,193基

※7 道路サポーター制度の登録団体数

## 2. 令和5年度に供用開始する予定の主な路線等

都市計画道路博多箱崎線（千代・馬出）	L= 690m
市道宮ノ浦線	L= 750m
橋本駅前広場	A= 3,500 <sup>2</sup>

## 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）

### 1. 目的

踏切での交通渋滞や事故の解消を図り、鉄道により分断された市街地を一体化するなど、沿線地域の良好な住環境を形成するため鉄道の高架化を行うもの。また、併せて側道整備を行い、沿線の交通の利便性や安全性を高めるとともに、駅へのアクセス性を高め、公共交通の利用促進を図るもの。

### 2. 事業概要

事業 内容	延 長	L=1,864m		
	区 間	博多区南八幡町二丁目 ～ 博多区西春町二丁目		
	除却踏切数	7箇所（うちボトルネック踏切5箇所）	立体交差道路	11箇所
	施行方法	仮線方式及び直上方式		
事業年度		平成22年度～令和7年度		
全体事業費		変更後 約456億円（福岡市負担約379億円、西鉄負担約77億円）		

（変更前 約415億円（福岡市負担約345億円、西鉄負担約70億円））

※事業費変更の主な理由

- |                     |          |
|---------------------|----------|
| ①労務単価及び建設資材単価上昇等    | 約33億円    |
| ②工事に支障となる埋設物の撤去の追加等 | 約8億円     |
|                     | 合計 約41億円 |

### 3. 進捗状況

年 度	内 容
平成19年度	都市計画決定（平成20年3月24日）
平成22年度	都市計画事業認可（平成22年7月23日）基本協定締結（平成22年11月2日）
平成23年度	工事着手（平成24年1月）
平成26年度	新駅に関する都市計画変更（平成26年4月3日）
平成27年度	新駅に関する都市計画事業認可変更（平成27年7月3日）
平成29年度	雑餉隈駅 仮平面駅 利用開始（平成30年1月27日）
平成30年度	筑紫通り（麦野跨線橋）仮設道路切替（平成31年2月10日）
令和2年度	事業期間に関する都市計画事業認可変更（令和3年3月26日）
令和4年度	高架切替（令和4年8月28日）及び筑紫通り供用（令和4年9月30日）
令和5年度	桜並木駅（新駅）開業（予定）

### 4. 令和5年度 事業費及び事業内容

事業費・進捗率

（単位：百万円）

	令和5年度 (A)	令和4年度末 (B)	令和5年度末 (A) + (B)
事業費	2,482	34,287	36,769
進捗率(%)	—	90.4%	96.9%

事業内容

項 目	内 容
工事・補償	・雑餉隈駅 駅舎整備 ・側道工事 等

## 5. 平面図等

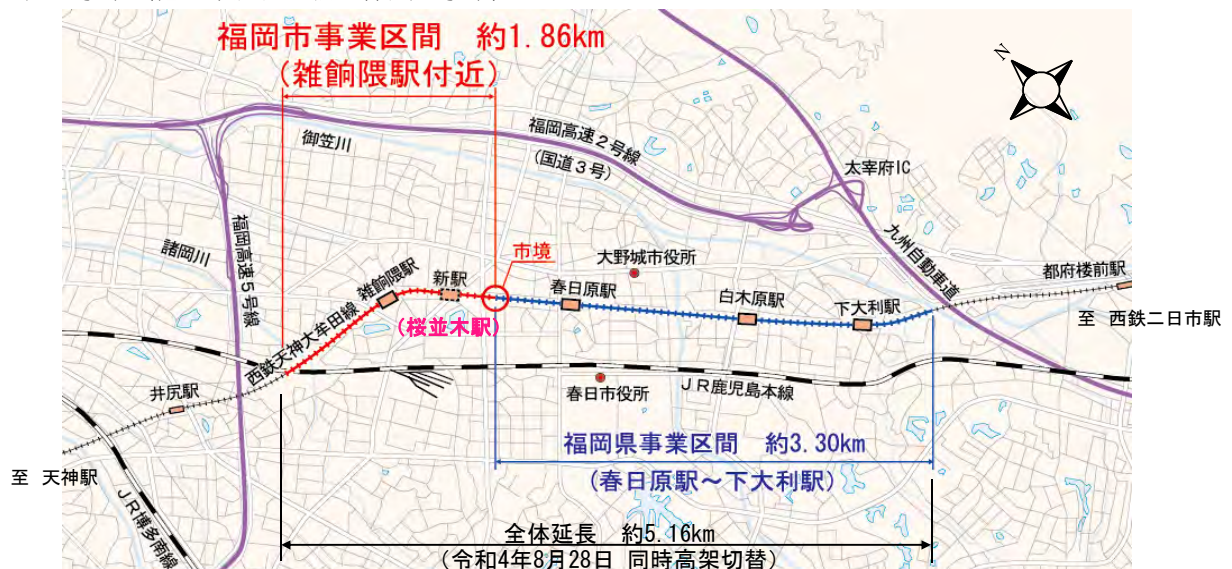
### ●平面図



### ●現在の施工状況



### ●関連事業 (福岡県施行連続立体交差事業)



# 福岡高速3号線延伸事業

## 1. 目的

福岡空港の滑走路増設等の機能強化を見据え、福岡市の南部地域や太宰府方面から空港へのアクセス強化を図り、空港周辺道路の混雑緩和にも資するもの。

## 2. 事業概要

事業内容	路線名	福岡高速3号線			
	計画概要	規模(延長)	約1.8km (連結路約0.4kmを含む)	主たる構造	高架構造 地下構造
		車線数	4車線	道路の区分	第2種第2級
		設計速度	60km/h	JCT/出入口	豊ジャンクション (仮称)空港北ランプ
事業年度	令和3年度～令和12年度(予定)				
事業主体	福岡北九州高速道路公社(有料道路事業)				
概算建設費	約470億円(公社経費約62億円は含まない)				

## 3. 進捗状況

年 度	内 容
平成27年度	市道路線認定(平成28年1月14日) 福岡北九州高速道路公社 基本計画変更認可(平成28年3月28日)
令和2年度	都市計画決定(令和2年6月29日) 自動車専用道路指定(令和2年7月31日)
令和3年度	福岡北九州高速道路公社 整備計画変更許可(令和3年5月19日) 都市計画事業認可(令和3年7月12日)

## 4. 令和5年度 事業費及び事業内容

福岡北九州高速道路公社 事業費

(単位:百万円)

	令和5年度(予定) (A)	令和4年度末(見込) (B)	令和5年度末(予定) (A) + (B)
有料道路事業	4,480	2,840	7,320
進捗率	—	5.3%	13.8%

事業費のうち市貸付金・出資金

(単位:百万円)

	令和5年度(予定) (A)	令和4年度末(見込) (B)	令和5年度末(予定) (A) + (B)
貸付金 (有料道路事業の17.5%)	784	497	1,281
出資金 (有料道路事業の7.5%)	336	213	549
合計	1,120	710	1,830

事業内容

用地買収・地下埋設物等移設工事 等



## 5. 概要図及びイメージ図

### 概要図



### イメージ図



# 自転車活用の推進

## 1. 福岡市自転車活用推進計画の基本方針（概要）

**自転車通行環境の創出**  
基本方針：安全で快適な通行環境づくり

**はしる**

- (1) 安全で快適な自転車通行環境の創出
- (2) 安心して走行できる自転車通行空間ネットワークの形成

**駐輪環境の整備**  
基本方針：利用しやすい駐輪環境づくり

**とめる**

- (1) 民間等との共働による利用しやすい駐輪場の整備
- (2) 駐輪場の利便性向上

**自転車利用の適正化**  
基本方針：適正な自転車利用の促進

**まもる**

- (1) 適正な走行ルールの周知・徹底とマナーの向上
- (2) 安全・安心な自転車利用の促進
- (3) 放置対策の推進及び駐輪マナーの向上

**自転車の活用**  
基本方針：自転車を活用したまちづくり

**いかす**

- (1) 自転車に親しむ機会の創出
- (2) 自転車を活用したまちづくりの推進

## 2. 福岡市自転車活用推進計画（R3～R6）の状況 ※道路下水道局関連分を抜粋

成果指標			令和2年度末 計画当初	令和4年度末 見込	令和5年度 事業量	令和5年度末 予定	令和6年度末 目標
はしる	自転車通行空間 整備延長	km	122.7	138.0	5.5	143.5	160
	駐輪場整備台数	台	—	620	800	1,420	1,000
とめる	路上駐輪場 設置台数	台	4,933	4,110	▲55	4,055	4,500
	自転車放置率	%	1.6	1.3	—	現状維持	現状維持 (令和2年 1.6%)
まもる	保管自転車の 返還率	%	50	49 (令和3年度)	—	60	65
	シェアサイクルポート	か所	370	600	100	700	600以上
いかす	シェアサイクルの 月間平均ライド数	回	約210,000	約500,000	—	約580,000	約300,000以上

## 3. 令和5年度 事業費及び事業内容

事業費


(単位：百万円)

区分		令和5年度	令和4年度
はしる	自転車通行空間整備関連	510	327
とめる	駐輪場整備関連	1,509	420
	放置自転車対策関連	1,299	1,279
まもる		261	256
合計		2,281	2,282

※「まもる」、「いかす」については別途他局予算あり


○はしる ～自転車通行環境の創出～

(単位：百万円)

事業	令和5年度	事業内容
自転車通行空間の整備	510	<p>歩行者や自転車、自動車の安全・安心を確保するため、自転車通行空間を整備する。</p> <p>○市道博多姪浜線（昭和通り）（継続） ○一般県道内野次郎丸弥生線（継続） ○主要地方道志賀島和白線（新規） など</p> 

○とめる ～駐輪環境の整備～

(単位：百万円)

事業	令和5年度	事業内容
駐輪場の整備	210	<p>まちづくりの進展の機会を捉え、駐輪場の整備を行う。</p> <p>○西鉄天神大牟田線 雑餉隈駅 駐輪台数：約500台（整備完了予定） ○西鉄天神大牟田線 桜並木駅 駐輪台数：約300台（整備完了予定） ○地下鉄七隈線 橋本駅（設計）（新規）</p> 
駐輪場の管理運営	1,299	○指定管理料等、施設修繕 など
計	1,509	

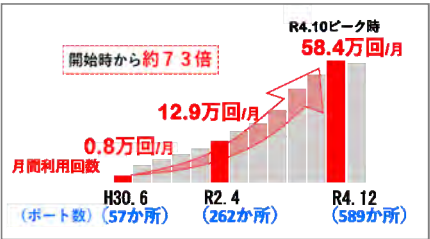
○まもる ～自転車利用の適正化～

(単位：百万円)

事業	令和5年度	事業内容
放置自転車対策	237	○撤去・保管所運営（7か所から6か所）・街頭指導
その他	24	○HP等による啓発、放置禁止路面表示 など
計	261	

○いやす ～自転車活用の推進～

(単位：百万円)

事業	令和5年度	事業内容
福岡スマートシェアサイクル事業	-	<p>○シェアサイクル事業の促進 実証実験を経て令和2年4月よりneuet（株）と共同事業実施中。都心部より順次エリアを拡大し、市はポート確保などを支援。</p> <p>○事業期間の延長 福岡市とneuet（株）の共同事業期間は令和4年度末までであるが、利用が順調に増加し、都心部の回遊性向上や放置自転車減少等の事業目的の達成に寄与するなど、期間中の実施状況が良好であり、市政アンケートや有識者による検討委員会の審査も踏まえ、継続が望ましいことから、令和6年度末までの2年間の延長を行う。</p> <p>○令和5年春から順次、福岡空港方面へエリア拡大。 ○シェアサイクルポートの充実（600か所から700か所）</p> 

## 無電柱化の推進

### 1. 福岡市無電柱化推進計画（R3～R7）

#### ①取組姿勢・官民の役割分担

防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成等の観点から、道路管理者、電線管理者及び開発事業者等が連携し、適切な役割分担により、無電柱化を推進する。

#### ②対象路線及び計画延長

無電柱化は工事や地上機器の設置場所等について、沿道住民等の合意形成が重要である。そのため、道路の整備・改良に合わせた事業実施を基本に、以下の道路について優先的に無電柱化を推進する。

計画期間中に約48.9km<sup>\*</sup>の無電柱化に着手する。

##### <防災>

福岡市が管理する緊急輸送道路及び幹線道路等 約34.4km

##### <安全・円滑な交通確保>

福岡市バリアフリー基本計画における生活関連経路等 約2.8km

##### <景観形成・観光振興>

地域の特性を活かした良好な景観形成や観光振興のため、街並みや自然環境などとの調和を図り、地域の魅力を高める必要がある道路 約2.5km

##### <まちづくり等に合わせた無電柱化>

区画整理や開発行為等の面整備事業における道路 約13.8km

※複数項目に該当する路線もあるため、合計と一致しない。

#### ③指標

電柱倒壊リスクがある市街地等（DID地区）の緊急輸送道路の無電柱化着手率を34%（R2年度末）⇒45%（R7年度末）とする。

計 画 目 標	令和5年度 (予定)	令和4年度末 (見込)	令和5年度末 (予定)
電柱倒壊リスクがある市街地等（DID地区）の緊急輸送道路の無電柱化着手率	2.2%	39.4%	41.6%

### 2. 令和5年度 事業費

	令和5年度	令和4年度
事業費（百万円）	1,514	1,457

### 3. 令和5年度の主な整備箇所

（市）清水干隈線、（主）志賀島和白線、（市）百道通線

<参考>

○整備事例



妙見通り（東区）



承天寺通り（博多区）

○電線共同溝のイメージ

